



## 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。  
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW60

# 輪状甲状腺切開モデル



## 目 次



- はじめに  
製品の特長とご使用上の注意 ····· P. 1
- ご使用の前に  
ご使用前の確認 ····· P. 2
- 準備  
切開用皮膚の取り付けと固定 ····· P. 3
- 実習  
カテーテル挿入の成否確認  
切開用皮膚、切開用皮下組織の交換 ··· P. 4
- 後片づけ  
実習後の保管 ····· P. 5

## はじめに

この度は「輪状甲状間膜切開モデル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、輪状甲状韌帯部の穿刺・切開からカテーテル挿入までがトレーニングできるモデルです。医学教育用の実習教材としてご使用ください。

**必ずお読みください**

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

**特 長**

- ランドマークとなる輪状軟骨・甲状軟骨の解剖学的触感を再現しました。
- カテーテル挿入の成否を目視で確認できる構造になっています。
- 予め頭部が後屈した（頸部伸展）状態を模しています。
- セッティングが容易で、モデルの位置ずれ防止用吸盤付。
- 皮膚は穿刺位置をずらすことで複数回使用できます。

**注 意**

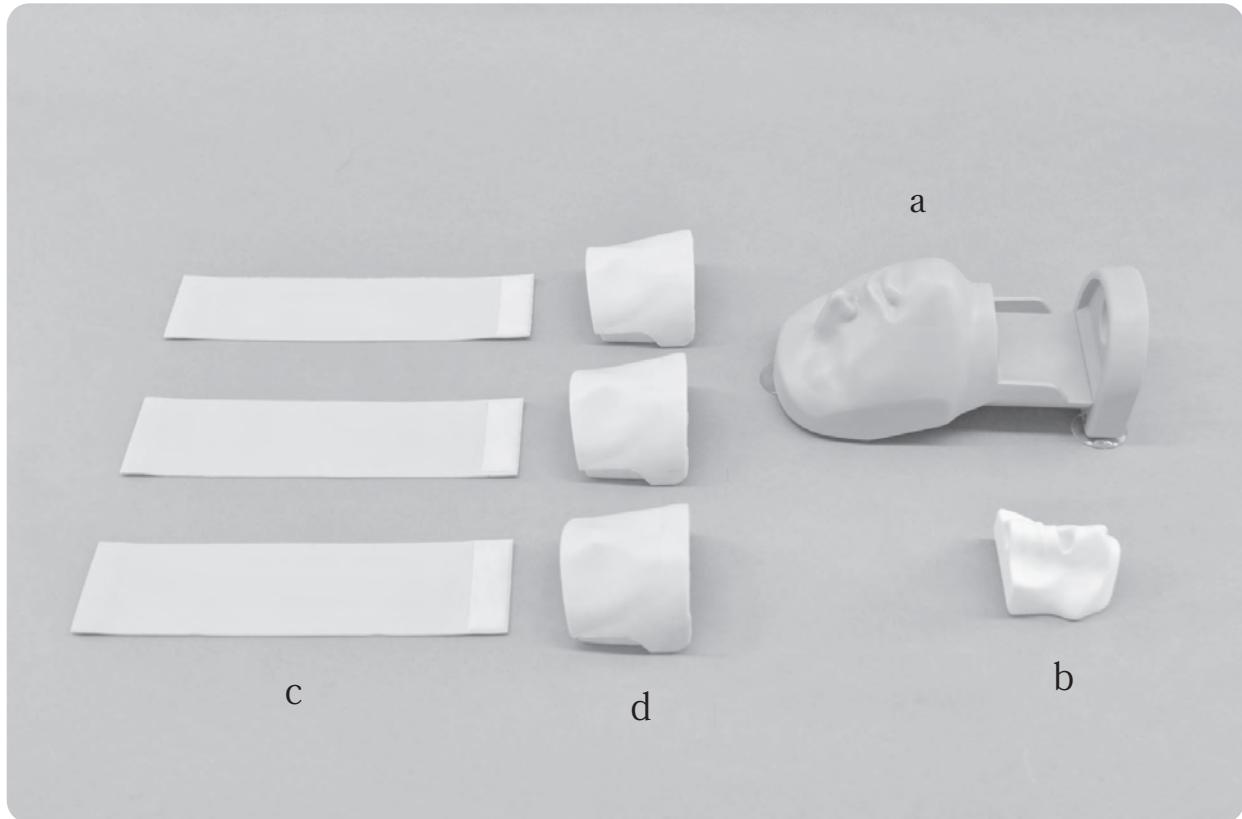
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>取り扱いにご注意ください</b> モデルの移動や取り扱いは丁寧に行ってください。 落下や強い衝撃を与えると破損の原因になります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>汚れは中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください</b> モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭いてください。 ※シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>印刷物をモデル表面に置かないでください</b> モデル表面に印刷物が直接触れるとき、樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>モデルにボールペンやサインペンで書き込まないでください</b> 樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>高温多湿を避けて保管してください</b> 使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。変形や故障の原因となります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>表面が変色する場合があります</b> 長期間使用されない場合や経年変化で変色する場合がありますが、ご使用には差し支えありません。</li></ul>

## ご使用の前に

## ご使用前の確認

### セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- a. 頸部モデル本体……………1台
- b. 輪状軟骨……………1点（頸部モデル本体にセット済み）
- c. 切開用皮膚……………3枚
- d. 切開用皮下組織……………3点（1点はモデル本体にセット済み）

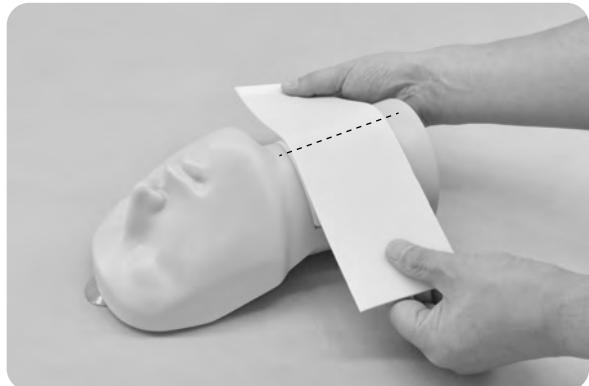
取扱説明書

## 準 備

# 切開用皮膚の取り付けと固定

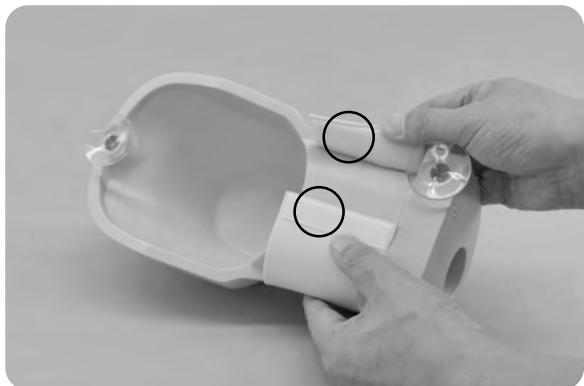
### 1 切開用皮膚の取り付け

- 1、別梱包になっている切開用皮膚を取り出し、頸部モデル本体の切開用皮下組織にあてます。（切開用皮膚の中心と頸部モデル本体の中心を合わせるようにしてください）  
※切開用皮膚は表裏がありませんので、どちらの面が表側でも問題ありません。



- 2、頸部モデル本体を裏返し、切開用皮膚両端のマジックテープを合わせて、切開用皮膚を固定します。

取り付け完了

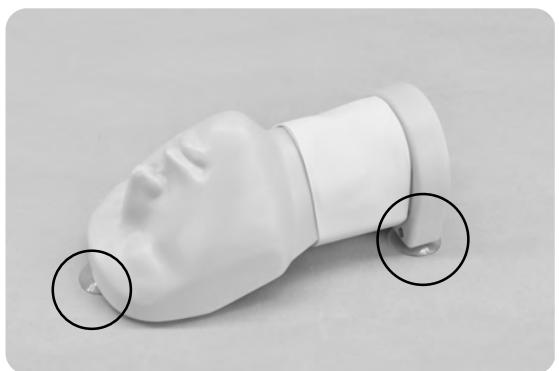
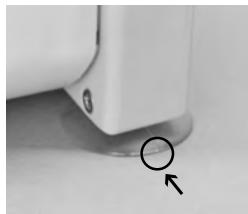


### 2 実習台への固定

- 3、頸部モデル本体を元に戻し、3箇所の吸盤で実習台に固定し準備は完了です。

**!** 注意 モデルが確実に固定できるように平滑な面でご使用ください。

取り外す場合は吸盤の凸部を持って持ち上げると、簡単に外すことができます。



# 実 習

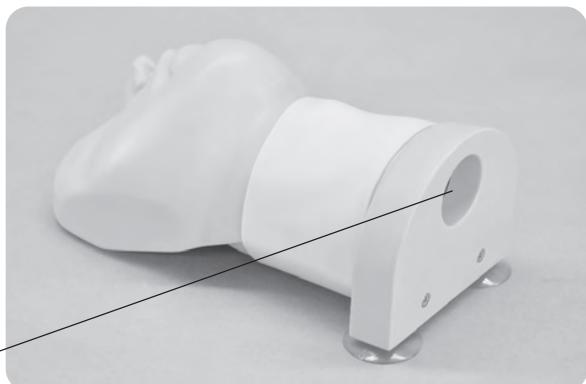
## カテーテル挿入の成否確認 切開用皮膚、切開用皮下組織の交換

### 1、カテーテルの挿入確認

1、切開後のカテーテル挿入が正しく行われているかを、目視で確認できます。



確認用の開口部



### 2、切開用皮膚、切開用皮下組織の交換

#### 切開用皮膚の交換

右写真のように切開部の固定位置をずらす事で、切開用皮膚を繰り返し使用する事ができます。

切開用皮膚が使用できなくなつた場合は、P 3 を参考に交換してください。

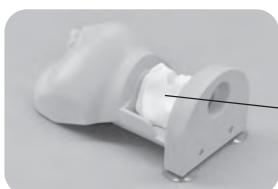
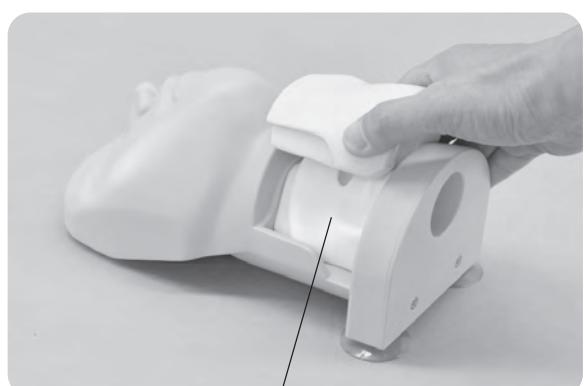


#### 切開用皮下組織の交換

P 3 と逆の手順で切開用皮膚を取り外した後、切開用皮下組織の両端を持ち、上側に引き上げると取り外す事ができます。

取り外しと逆の手順で新しい切開用皮下組織を取り付けてください。

※輪状軟骨の左右位置がずれないと、切開用皮下組織の両端が適切に固定できません。



輪状軟骨

## 後片づけ

## 実習後の保管

### 切開用皮膚の保管

実習後は切開用皮膚を頸部モデル本体から取り外して保管してください。  
※切開用皮膚を頸部モデル本体に取り付けたまま保管されると張力が変わってしまいます。



切開用皮膚





モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。  
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

## 交換部品

コード番号	部品名
11442-010	切開用皮膚 3枚組
11442-020	切開用皮下組織 3個組



切開用皮膚 3枚組



切開用皮下組織 3個組

- ・本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店、もしくは下記(株)京都科学まで御連絡ください。



URL・<http://www.kyotokagaku.com> e-mail・rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地  
TEL:075-605-2510(直通)  
FAX:075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号  
NREG本郷三丁目ビル2階  
TEL:03-3817-8071(直通)  
FAX:03-3817-8075

2020.10